

【助言・指導の事例】

事例1：自己都合退職に係る助言・指導	
事案の概要	退職を申し出たところ、「新人の面倒をもう少しみてほしい」等と頼まれ応じたところ、その後も退職を引き留められるようになり、今では退職の話を切り出してもはぐらかされてしまうようになった。 このため、早期の退職を認めてもらうよう労働局長の助言・指導を申し出たもの。
助言・指導の内容・結果	労働局長の助言・指導（過度の引き留めは適当でないこと、退職に関する民法規定等について説明し、法令に沿った解決に向けての検討をするよう助言）をした結果、申出人の希望する日に退職が認められて解決した。
事例2：有給休暇に係る助言・指導	
事案の概要	退職するにあたり、残っている有給休暇を消化したいと申し出たところ、「前に退職した人はそんなことはしなかったので、あなたもそうしなさい」と言われた。 このため、労働局長の助言・指導を申し出たもの。
助言・指導の内容・結果	労働局長の助言・指導（有給休暇に関する労働基準法等を説明し、法令に沿った解決に向けての検討をするよう助言）をした結果、残った有給休暇を消化し、その日をもって退職とすることで解決した。

【あっせんの事例】

事例：いじめ・嫌がらせに係るあっせん	
事案の概要	パートとして勤務していたが、同僚から無視されたり、身に覚えのないことを他の同僚に言いふらされたりしたため、上司に何度も相談したがきちんと注意してもらえなかった。このため、同僚の行為は止むことがなく、退職せざるを得なかった。よって、経済的損失・精神的苦痛に対する補償金〇万円を求めたい。
あっせんのポイント・結果	あっせん委員が双方の話の主張をまとめ、当事者間の調整を図ったところ、△万円を支払うことで合意が成立した。